

静岡文化情報

(財) 静岡市文化振興財団

# まちかど

VOL. 39

MACHI-KADO





## ■ 御門台と狐ヶ崎

御門台駅の周辺は、かつては畑もない荒地だったのだという。しかし、明治時代に有度小学校（現在の有度第一小学校）が建設され、有度村役場も小学校の向かいに建設されると、有度村の中心部になっていった。有度村役場のあった場所には、現在、有度生涯学習交流館が建ち、地域活動の中心地であり続けている。

狐ヶ崎駅の目前にも有度にとって重要な施設があった。20代以上の静岡市民なら誰でも知っているであろう狐ヶ崎遊園地（後の狐ヶ崎ヤングランド）だ。大正15年（1926年）に開園したこの遊園地は有度を大いに盛り上げた。また、周辺には歴史と特色のある寺社が点在しており、それらを拠点に数々の伝統文化が現代に受けつがれている点も特徴的だ。

昭和63年度に撮影された御門台～狐ヶ崎周辺。  
狐ヶ崎ヤングランド（右寄り）と有度第一小学校（左寄り）が大きく見てとれる。  
国土画像情報（カラー空中写真） 国土交通省

## ■ 御門台～狐ヶ崎のあらまし —有度地区—

御門台～狐ヶ崎は、「有度地区」と呼ばれる地域の一部だ。旧清水市と合併する前は有度郡有度村、さらにさかのぼると大化の改新（645年）の頃の文献にはすでに菟礪の名が見られる。縄文時代の遺物も発掘されており、この地域に人が住みだしたのは2000年以上前とも言われる。

有度村当時は農業が盛んな地域であったが、旧清水市との合併後、高度経済成長期に住宅地としての開発が進んだ。有度山の傾斜地を利用していることから、「第二の軽井沢」という触れ込みで宣伝されたのだとか。現在の有度地区は地区内に国道1号線と南幹線が走り、JR東海道本線、静岡鉄道静岡清水線それぞれの駅を有する、住宅地としても商業地としても発展した地域となっている。



狐ヶ崎駅近辺から見た風景。富士山を背景に清水区を一望できる。

## 特集①

遊園地の  
あったまち

開園当初（昭和5年頃）の狐ヶ崎遊園地

狐ヶ崎遊園地  
(狐ヶ崎ヤングランド)

遊園地の開園を待つ人々（昭和23年頃）

狐ヶ崎ヤングランド（昭和60年頃）  
郷土出版社「写真集 清水いまむかし」より

かつて、有度村（後の清水市、現静岡市清水区）に遊園地があった――。

そのことを知らない若い世代の人たちには、信じられないことかもしれない。有度山北麓の広大な田園地帯を造成し、狐ヶ崎遊園地が開園したのは大正15年（1926年）。静岡電気鉄道（現静岡鉄道株式会社）が電車の利用客を増やすために行った営業政策の一環であった。池にボートを浮かべ、植物園、運動場、遊具、食堂などの設備を整えていたほか、熊や鹿などを飼育した動物園まであった。3年目には大人10銭・子ども5銭となった入場料だが、仮開園の初年は無料で開放していたというから驚きだ。休日には市内外から大勢の子どもたちが訪れ、大変な賑わいを見せたという。

開園から42年が過ぎた昭和43年、大幅に改装し、「狐ヶ崎ヤングランド」としてオープン。狐ヶ崎ヤン

グランドは、ジェットコースター、プール・ウォータースライダー（夏季）、スケート場（冬期）、お化け屋敷、メリーゴーランド、ボウリング場などを有する近代的な遊園地であった。夏はプールに、冬はスケートにと、多くの家族連れで沸き返った。

その狐ヶ崎ヤングランドも平成5年に閉園、跡地にはジャスコ清水店（現イオン清水店）が建設された。ヤングランドは、イオン清水店内のボウリング場「狐ヶ崎ヤングランドボウル」にその名を残すのみとなっている。

激動の時代を、67年にもわたって市民に愛され続けた狐ヶ崎遊園地（狐ヶ崎ヤングランド）。現在ではその面影はなかなか見つけることはできないが、多くの静岡市民にとって思い出の1ページに刻まれていることだろう。

## ちやっきりぶしの誕生

静岡県の民謡として全国に知られている「ちやっきりぶし」。古くからある民謡と間違えられることもあるそうだが、実は狐ヶ崎遊園地開園に際して制作されたコマーシャルソングだったのである。

遊園地開園の際、「入園者に愛唱される唄がほしい。その唄を通じて特産品を認識してもらい、輸出産業として発展させたい。」と考えた当時の担当者・長谷川貞一郎氏は、民謡の作詞を当時の代表的作家である北原白秋氏に依頼した。当初は全く相手にされなかったが、何度も出向きようやく口説き落としてつくられたのが「ちやっきりぶし」だという。

歌は30番まであり、静岡県内各地の地名や名産・方言がふんだんに使われている。昭和6年には芸者歌手・市丸がレコード化し大ヒット、全国的に知られるようになった。ちなみに、「ちやっきり節」として知られているが、元の原稿では「や」は大きい。



北原白秋の自筆原稿

← 狐ヶ崎駅の構内にある  
ちやっきりぶしの案内板。  
30番までの歌詞をすべて  
見ることができる。

御門台  
みかどだい

## 静岡鉄道 御門台駅

明治41年（1908年）、静岡鉄道静岡清水線（現新静岡―新清水）の誕生とともに「有度学校前駅」として開業し、今年で104年となる。昭和36年には、「御門台駅」へと改称した。その由来については、駅構内に設置されている立て看板に詳しい。草薙神社を建立したのが景行天皇だと伝えられていることから、西の「草薙駅」に対して天皇を意味する「みかど」の名を持つ駅名が付けられたそうだ。

駅はこじんまりとした地上駅で、上りと下りの線路に挟まれた位置に改札があるため、踏切の遮断機が下りている間は駅に出入りすることができない。駅構内にいる人専用の小さな遮断機が何ともかわいらしいのだが、思いがけず下りてくる遮断機に頭をぶつけないように注意が必要だ。

御門台駅の由来を  
記した立て看板御門台駅の外観。  
改札の出口に小さな遮断機が設置されている。

## 遊園地の面影

遊園地そのものは現在は跡形もないが、所々にその名残を見る事ができる。

まずは南幹線から柵越しに見る事もできる聖一国師堂。これは静岡茶の開祖とも言われる聖一国師を祀ったお堂で、もともと狐ヶ崎遊園地内に建てられたもので、遊園地が無くなった現在も同じ場所に残っている。また、お堂の裏手には「人形はこころのふるさと」の言葉とともにひな人形をかたどった人形塚があり、さらに周辺には聖一国師の顕彰に寄与した五島慶太翁の像や雛人形業界の発展に寄与した青島藤次郎翁の顕彰句碑もある、「石碑の密集地帯」なのだ。現在はイオン清水店の駐車場の片隅から階段を上っていくことで見る事ができる。

もうひとつの名残が上原堤。丸い池を半分に分けたような形のこの池は、狐ヶ崎遊園地にあった、ボートの浮かんだ池の現在の姿だ。かつてのようにボート遊びはできないが、現在でも周辺はきれいに手入れされ、周辺の人々の憩いの場所となっている。



聖一国師堂の裏にある人形塚

狐ヶ崎  
きつねがさき

## 静岡鉄道 狐ヶ崎駅

御門台駅と時を同じくして開業した狐ヶ崎駅は、時代の移り変わりとともに三度駅名を変えた。当初の「上原駅」から、昭和2年には狐ヶ崎遊園地本開園とともに「遊園前駅」へと改称。昭和43年には遊園地が狐ヶ崎ヤングランドとして再開したのに合わせて「狐ヶ崎ヤングランド前駅」へと改称した。昭和60年頃、駅名を現在の「狐ヶ崎駅」とし、平成5年にはヤングランドも閉園している。

駅は線路の上にホームがある橋上駅となっており、平成11年に全面改装された際に近代的なデザインの駅へと装いを変えた。同年には、一般公募によって選ばれる「中部の駅百選」に選ばれた。

かつて遊園地の名を持ち子どもたちから親しまれていた狐ヶ崎駅は、今もなお周辺住民の生活に欠かせない駅として愛され続けている。



←「狐ヶ崎ヤングランド前駅」だった頃の駅舎。

現在の狐ヶ崎駅の駅舎



階段の上に建つ聖一国師堂



現在の上原堤

遊園地が  
あった頃の上原堤

## 特集②

住む人みんなが  
つくるまち

## 有度地区の地域活動

有度地区の人口は3万6千人強、もともと一つの村であった土地柄からか、地域内のつながりが強く、地域活動が非常に盛んだ。特に御門台駅前には有度生涯学習交流館が設置されているため、この地域が地域活動の拠点のひとつとなっている。内容も活動場所も多岐に渡るためそのすべてを紹介することはできないが、御門台～狐ヶ崎で行われている活動をいくつか紹介したい。



建設中の有度生涯学習交流館



## 有度生涯学習交流館

有度生涯学習交流館が「有度公民館」の名前で開館したのは昭和48年のこと。旧有度村役場の建物を「別館」として使用し、本館を新たに建設してのスタートだった。

有度地区31自治会から成る有度連合自治会の拠点であり、50団体ある自主学习グループや、各種の地域団体がここで活動している。また、生涯学習交流館が主催する講座も、多くの受講者でにぎわう。有度の人々は生涯学習に対しても非常に熱心なのだ。地域活動と生涯学習、両方の拠点として開館から40年近く経つ現在まで親しまれ続けてきた。

そんな有度生涯学習交流館だが、平成24年2月現在建替え中だ。平成24年5月にはリニューアルされて開館予定だが、この時には清水区では初となる児童館が併設される予定だ。子育ての拠点にもなり、一層有度に欠かせない施設になっていきそうだ。



昭和27年頃の有度村役場 「有度歴史散策」より



## 有度ふるさと研究会

有度ふるさと研究会も携わった  
有度ふるさとマップ谷津沢川水路橋の説明  
板。丁寧な説明文に、  
往時の写真も添えられ  
ている。

有度の街並みを歩いていると、しばしば目に留まるものがある。史跡や地域の歴史を紹介する説明板だ。記名を見てみると「有度まちづくり推進委員会」とある。地元団体が丁寧な説明板を、しかも随所に設置している事には驚かされる。

そもそも有度は歴史研究が活発な土地柄。先述の説明板や地域の歴史に関する書籍を見ても、いくつもの団体名が現れ、多彩な活動が行われたことがうかがわれる。また、有度村と旧清水市が合併した当時から有識者を迎えての歴史講演会が度々開かれており、その数は現在までで十数回にもなるという。

現在、こうした活動に役買っているのが「有度ふるさと研究会」だ。先述の説明板の作成や歴史講演会を毎年行っている他、地域の歴史を研究して書籍にまとめたり、毎年秋のうどまつりでは歴史にまつわる写真展を行ったりと幅広く活動している。会長の吉川さんによると現在は得意分野のそれぞれ異なる15人が所属しており、文化遺産の見学をしたり、それぞれの視点の違いを乗り越えて意見を交換し合ったりするのが醍醐味だと言う。

会員が熱心なのはもちろんだが、それを取り巻く地域も熱心だ。毎年立派な説明板を作成できるのは、地域の方々の理解と協力があってこそだという。吉川さんは「先人の残した功績を後世に伝えたい」と笑顔で語る。地域の歴史を調査する活動が、また新しい地域の歴史を作っているのだ。



会の活動が開始されてから大きく減少した犯罪件数が、その理念が実を結びつつあると実証している。平成22年にはその活動が国に認められ、「安全・安心まちづくり功労者」として内閣総理大臣から表彰も受けた。

有度の町を歩けば、そこかしこで「有度子どもを守る会」ののぼりが目に入る。こののぼりの多さは、それだけ子どもを見守る大人たちがいる事を示している。地域に愛されて育った子どもたちは、きっと地域を愛する大人になっていくことだろう。

## ◆有度の太鼓◆

狐ヶ崎の周辺ではふたつの太鼓保存会が活動しており、それぞれに特色ある太鼓を伝承している。これらの太鼓は地域の祭り等で披露されているが、毎年秋に有度第一小学校で開催される「うどまつり」では両方の太鼓を楽しめる。

かいちんたいこほぞんかい  
開枕太鼓保存会

十七夜山千手寺の開枕太鼓は、総本山である京都の萬福寺で、350年ほど前から現在まで毎日時を告げる太鼓として打たれている開枕太鼓をルーツに持つ太鼓だ。その太鼓を伝承しているのが、開枕太鼓保存会である。黄檗宗の寺は全国にあるが、総本山以外で開枕太鼓を打っているのは上原の保存会だけだという。保存会では、十七夜山千手寺の開枕太鼓だけでなく、地域の秋の祭りで打たれている伝統太鼓「日待ち太鼓」をも伝承するほか、伝統曲のリズムを生かし自分たちで創った創作太鼓も演奏している。

発足当初からのメンバーである保存会会長の川端さんは、「伝統的な太鼓を通して地域の伝統や風習を学べるだけでなく、世代や性別を超えた様々な人たちとのふれあいの場となっている」と話す。現在のメンバー25名のうち7名は子どもで、最年少と最年長ではなんと50歳以上の年の差がある。

今では週1回の練習のほか、地域の祭りや港まつり等で演奏を披露し、活躍している。



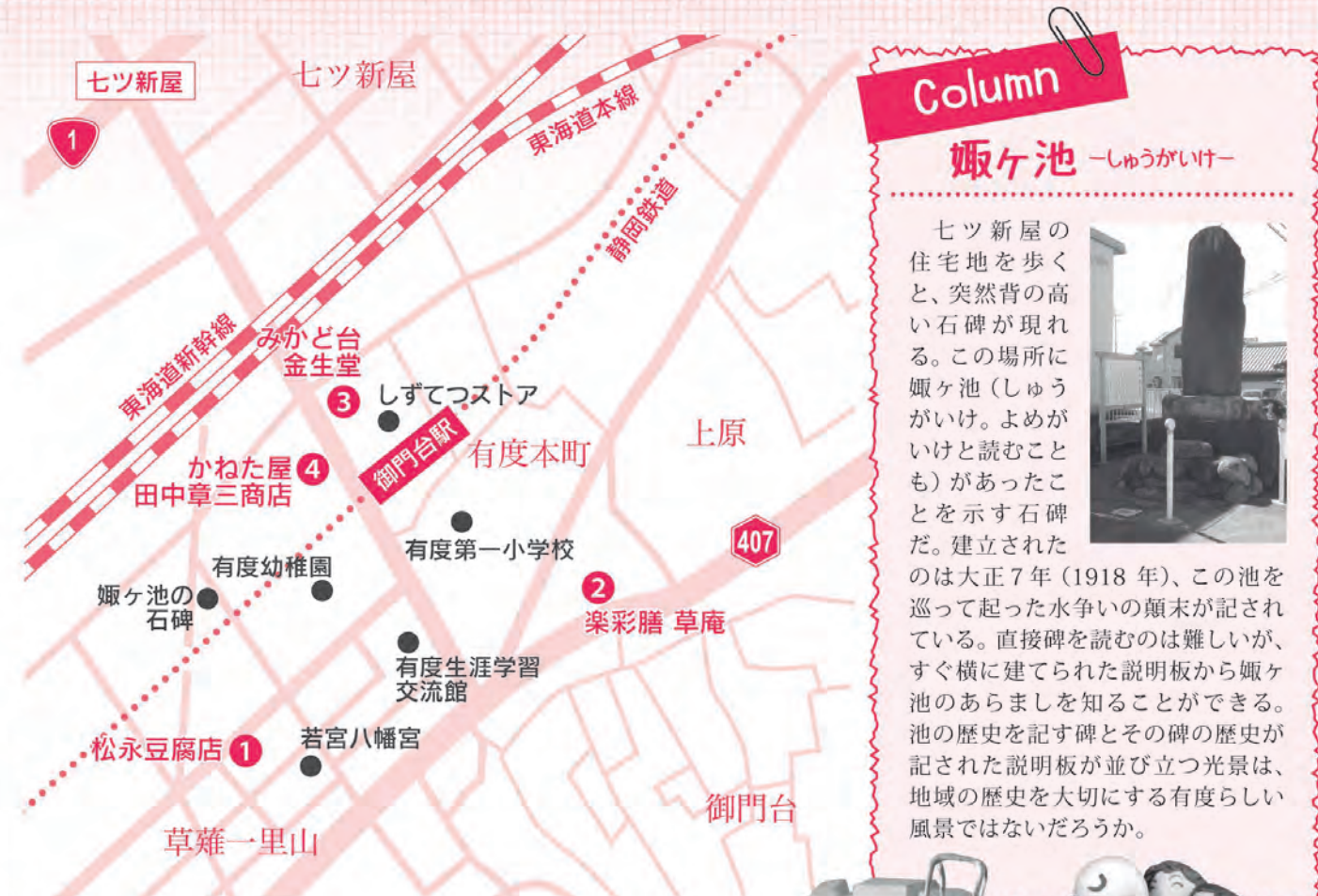
萬福寺開創350年記念「奉納太鼓」で演奏した時の様子

まつりたいこほぞんかい  
吉川八幡神社 祭太鼓保存会

吉川太鼓の特徴的な点は、叩く時の姿勢にある。ふたりの叩き手が太鼓の両側に立ち、それぞれ片足を太鼓に乗せてがっちり固定。両面から力強く叩く太鼓は、地の底から響くような重厚な音色となる。吉川八幡神社の秋祭りでは、祭りの間に3度も披露される重要な役割を担う。

吉川八幡神社祭太鼓保存会が結成されたのは、昭和63年のこと。叩く人も減り、途絶えそうになっていた吉川太鼓だったが、昔を知る人から粘り強く聞き取りを行い、その音色を現代に蘇らせた。現在の会員は6人、全員が吉川在住だ。他の地域から興味を持ってやってくる人もいるが、あくまで吉川の人の手による太鼓にこだわっているのだという。長く続く伝統を引き継ぐだけに、ハードルも高く設定しているが、それを語る会長の射手園さんはとても楽しそうな表情だ。「吉川氏の歴史が、イコールこの太鼓だと思っていいから」と説明してくれた射手園さん。地域の伝統への愛着と、それを受け継ぐ誇りが感じられた。





# 御門台エリア Mikadodai

## ① 松永豆腐店



木でできたレトロな店構えと、白くて大きな「とうふ」の看板。松永豆腐店は二代目の若社長が切り盛りするちょっとお洒落な豆腐屋だ。

開放的な店内には豆腐や厚揚げ、がんもなど様々な商品が並ぶ。なかでも豆腐は、かたさと甘みの違う数種類を置くこだわりようだ。気さくな店員さんに相談しながら、どれを買おうかあれこれ悩むのが楽しい。選んだ品を買い物カゴ代わりに木箱に入れていくのもまた楽しい。

豆腐は店で手作りしているため、大量生産はできない。しかし、「大きい規模へのあこがれはない。手作りの味で自慢したい」という二代目。そんなスタイルに魅かれてか、クチコミで遠方から来るお客さんもいるという。手作りの味を対面販売で、というこだわりを貫いているからこそ、二代目の思いがお客さんに伝わるのかもしれない。

## Column

### 姫ヶ池 —しゅうがいけ—

七ツ新屋の住宅地を歩くと、突然背の高い石碑が現れる。この場所に姫ヶ池（しゅうがいけ。よめがいけと読むことも）があったことを示す石碑だ。建立されたのは大正7年（1918年）、この池を巡って起った水争いの顛末が記されている。直接碑を読むのは難しいが、すぐ横に建てられた説明板から姫ヶ池のあらましを知ることができる。池の歴史を記す碑とその碑の歴史が記された説明板が並び立つ光景は、地域の歴史を大切にする有度らしい風景ではないだろうか。



水に浸かって並ぶ豆腐。商品説明の札が添えられているのも嬉しい。



## ② 楽彩膳 草庵

南幹線沿いの見晴らしの良いところに店を構えるのは、今年でオープンして7年目になるという楽彩膳草庵。おいしい料理が評判の創作和食屋さんだ。

親方・長澤さんが作るのは、この店でしか食べることのできない独創性溢れるお洒落で繊細な料理。女性客が多いというのも納得だ。以前は夜の営業のみだったが、常連さんの要望で、今では予約制のランチコースも提供している。

草庵のこだわりは、なんといっても地元のおいしい食材を使うこと。駿河湾沖で採れる天然の塩や、伊豆天城山の深層水、駿河シャモや新鮮な地魚などの食材を使用した、季節に合わせたその時いちばんの料理が楽しめる。桜の原木で燻した自家製の薫製も人気メニューで、お持ち帰りを買って帰るお客さんもいるほど。

長澤さんと一緒に店を切り盛りするのが、なんと58歳で大型バイクの免許を取得したという奥さんの佳栄子さん。長澤さんの作るこだわりの料理を食べつつ、エネルギーな佳栄子さんと話せば、お腹が満たされるだけでなく元氣ももらえること間違いなしだ。



黄色の看板が目印

## ④ かねた屋 田中章三商店

まるでそこだけ昭和にタイムスリップしたかのような佇まいのかねた屋田中章三商店は、御門台駅のすぐ近くにある洋裁用品のお店。そっと戸を開けて入ると、店主の萩原さんが元気な笑顔で迎えてくれる。店内にはところ狭しと生地やボタンが並び、懐かしいデザインのものに最近のものが混ざって、盛りだくさんで見えて飽きない。

昭和34年頃両親が始めた店を、10年ほど前に教員を退職した萩原さんが継いだ。店の雰囲気はそのままに、時代に合わせて新しいものを仕入れているという。今では古くからのお客さんのほか、珍しい生地を求めて若いお客さんも訪れるとか。

店が始まった頃から比べると周辺の様子はずいぶん変わり、数年の内には道路の拡張のために店を建て替えるとのことだが、「新しい店にも今の雰囲気を残したい」と萩原さんは話してくれた。話を聞いている間にも何人ものお客さんが訪れ、萩原さんと材料について相談したり世間話をしたり……洋裁用品の店としてだけでなく、心休まる場としても愛されているようだ。「また来てね」という萩原さんの声に、ほっと心が和む。



親方の長澤佳明さんと奥さんの佳栄子さん



駿河シャモを使った料理。なんとお皿まで長澤さんの手作り！

## ③ みかど台 金生堂

昭和35年創業のみかど台金生堂。ガラスケースの中には色とりどりの和菓子が並んでいる。そのひとつひとつが材料にこだわった手作りの品だ。

たとえば、和菓子の中でも水分の多い餅類には足久保の湧水を使っている。口どけよく、なめらかに仕上がるのだという。しかし、水分の少ないどら焼きの皮に同じ水を使ってもおいしくできない。使う水が風味や出来栄を左右するため、それぞれに合った水を使い分けているのだ。

季節によって品揃えも変わる。「和菓子に大切なのは季節感。次の季節はあの菓子を作ろう、と考えるのが和菓子職人の楽しみなんです」と、ご主人が嬉しそうにおしえてくれた。不思議なことに、同じ日にひとつの菓子ばかりが売れることがあるそうだ。もしかしたら和菓子を買うお客さんも、無意識のうちにその日の気候に合った菓子を選んでるのかもしれない。

和菓子屋さんに行って、日々の生活で薄れた季節感を取り戻してみてもいいだろう。





# 狐ヶ崎エリア① Kitsu-negasaki

## リサイクルブティック・スノードール／ ⑥ オルタナティブスペース・スノドカフェ

南幹線沿いに素敵な洋館風のお店が建っている。その1階は古着等の販売を行っているスノードール。2階にあるスノドカフェには「オルタナティブスペース」という文字が掲げられている。オルタナティブスペースの意味を尋ねてみると、美術館や画廊などの美術作品専用ではなく、より広範に作品発表や活動を行える空間だということだ。実際、この場所で絵画・写真・コンサート・演劇・ワークショップなど様々なジャンルの催しが開かれている。このスペースは活躍の場を求めているアーティストに貸し出されている他、イベントによってはオーナーの柚木さん自身が直接携わり、サポートすることもあるそうだ。

アーティスト本人はもちろんのこと、アートを支える人たちにも焦点をあてたい、という柚木さん。その活動はスノドカフェの中には留まらず、今年2月には、柚木さんが中心となって芸術批評誌「DARA DA MONDE (だらだもんで)」を創刊した。静岡発の芸術活動を紹介・批評する雑誌で、さまざまな分野の芸術が交わり相互に影響し合う場となることを目指しているという。静岡の芸術の発信源となる雑誌として、これからが非常に楽しみだ。



オーナーの柚木さん

## ⑤ 上原子安地蔵堂

上原堤の脇に、古くから長寿や安産の守護として信仰されてきた小さな地藏堂がある。現在の地藏堂は、明治に焼失したお堂を昭和7年に周辺住民の寄付で再建したもので、今では上原自治会館が併設されており、上原の人たちの活動の拠点になっている。

上原自治会では、年3回の地域のお祭りを盛り上げるために「祭り企画部」を発足させるなど、精力的な活動をしている。掲示板に「『子どもとお年寄り』を大切に、各種のイベントを通じて親睦をはかり、『明るく、元気』な上原自治会にしよう」とあるように、積極的に子どもとお年寄りのふれあいの機会を作っており、地藏堂も祭りの際にはたくさんの人たちが賑わう。



境内には遊具があり、ほのぼのとした雰囲気だ



イベントごとに様子を变えるスノドカフェ。この日はアーティストのJaajaさんの展覧会。

## ⑦ ブラウニー

緑と茶色を基調としたお洒落な店構えにつられて店内に入ると、そこはコーヒーの香りに満ちた素敵な空間。ブラウニーは、自家焙煎のコーヒーに加えて、中国茶を楽しむという風変わったカフェだ。

店内にはマスターの大石さんがこだわり抜いた品々が並んでいるが、中国茶を選んでいるのは中国出身の奥さん。16年前、サラリーマンだった大石さんがお店を開くことになった時、お互いの知識を活かせるようにと、コーヒーと中国茶が楽しめるお店を思い付いたのだという。

現在は全国チェーンのコーヒーショップも数多くあるが、「高いクオリティのものを作り続けられれば、お客さんは来てくれる」と話す大石さん。以前お店に通っていたお客さんが、遠方に転勤した後もずっとお店の豆を注文してくれることもあるそうだ。

「いろんな人達との出逢いが財産」と話してくれた大石さん。ふらりと立ち寄ってみれば、新たな出逢いを喜んで迎えてくれるだろう。



コインロッカーを利用したディスプレイ



## ⑨ 株式会社クキン・ビー・ガーデン

馬走に本社を置くクキン・ビー・ガーデンは、ハチミツやメープルシロップを製品化・販売している会社だ。今では東京にも支社や販売店舗を持っているが、本社を馬走到に置き続けているのは、会社の発祥の地を大切にしたいという思いからだという。

ハチミツは花の種類や産地・時期により色や味が全て異なり、クキン・ビー・ガーデンは各地で多様なハチミツを採取しているのだという。静岡で採れるのはみかんのハチミツ。柑橘系のすっきりとした甘味が特徴で、人気があるという。

本社の社屋でも製品を買うことができるので、レンゲやみかん・シトラス・マロニエ・クローバーなど、珍しいハチミツを試してみたい人はぜひ訪れてみてほしい。

## ⑩ 十七夜山 千手寺



狐ヶ崎駅の南西、坂の上に位置する十七夜山千手寺は、総本山を京都の黄檗宗萬福寺につつ寺で、毎月17日夜から23日夜までの七夜、祈願成就の祈りをしたことから、十七夜山千手寺と名付けられたという。

かつてこの地には真言宗宝珠寺の小寺があったが、永禄11年(1568年)、武田信玄が駿河侵入の折りに焼失、その跡に再建されたのがこの寺で、建立は元禄5年(1692年)頃ではないかと言われている。

十七夜山千手寺で特徴的なのが、「黄檗普茶料理」だ。黄檗普茶料理とは、黄檗宗萬福寺の開祖・隠元禅師が中国から伝えた中国風精進料理で、身分の隔たりなく4人が一卓に座り、会話を楽しみながらゆっくり残さず食べるのが作法。油を多く使うところや、干瓢と大豆で取るだしが特徴的だ。調理をしているのは住職の永田廣栄さんの奥さんである記子さん。京都の萬福寺で学んだという先代の住職から調理法を受け継いだという。予約制だが、仏教徒であるなしに関わらず誰でも食べられるので、気になる方は一度体験してみてもいいだろう。



マスターの大石さんと奥さん。カウンターの中にはこだわりの豆がズラリ。

## ⑧ Lunático

南幹線沿い、イオン清水店の向かいにあるLunáticoは、バッグやアクセサリー、雑貨などを取り扱うお店。無機質なイメージのコインロッカーやスチール棚をお洒落に変身させてディスプレイに使用したり、個性的な内装が目を引く。

Lunáticoが扱うのは、トラックの幌や車のシートベルトなどを再利用して作られたバッグなど、個性的なものばかり。「流行に左右されない不変的なお店にしたい」という店長の山本さんのこだわりだ。

もともとギャラリーだったスペースで、店内にはギャラリー時代からあったというとても美しい3点のスタンドグラスがある。「さるかに合戦」など日本の昔話の場面を描いた珍しいデザインなので、ぜひこちらにも注目して見てほしい。



製造部長の植田さん(左)と工場長の大石さん(右)



# 狐ヶ崎エリア② Kitsuhegasaki

## 11 吉川八幡神社と吉川氏の足跡

狐ヶ崎駅から線路を挟んで反対側、吉川八幡神社は文治二年（1186年）に吉川経義が開いたと伝えられる、800年以上の歴史を持つ神社だ。境内にある狛犬や灯籠の裏を覗き込んで見ると、地域の人々や吉川氏ゆかりの人々の名が刻まれており、長きに渡って信仰されてきたことをうかがい知ることができる。また、安政の地震で倒れたと言われる旧鳥居が保管されており、解説付きで、柱に刻まれた文字を読むことができるのも興味深い。

この解説を作成したのは、駿河吉川会だ。ここ吉川に数多く残されている吉川氏の足跡を現在に伝える活動をしている。P7で紹介した祭太鼓の保存もその活動の一つだ。また、吉川氏はその後武功を上げて各地へ広がり、それぞれの地で様々な文化的遺産を作り出した。会の名に「駿河」とあるが、山口、鳥取、広島、島根にも吉川氏の文化を引き継ぐ会があり、交流が続いている。小さな町の団体だが、活動は全国規模なのだ。

## Column

### 谷津沢川水路橋

狐ヶ崎駅のすぐ東側にある谷津沢川水路橋は、鉄道線路の上を川が流れ、そのまた上に歩道があるという日本でも珍しい橋のひとつ。普通橋は川を渡るために架けられるものだが、この橋は川が渡るための橋なのだ。歩道橋の脇から下を覗き込んでみると、水が流れているのを見ることができる。

かつてこの橋のあたりは丘陵地で地続きだったが、明治19年（1886年）頃、東海道本線敷設の際に切り通しの工事が行われ、下流域農地の灌漑用水を確保するためにこの水路橋が出来上がった。昭和9年には歩道橋としての機能も兼ね備えた橋となり、現在に至っている。

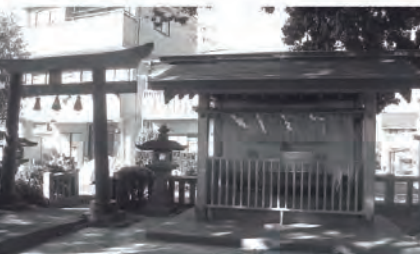
### 上原跨線橋

狐ヶ崎駅の西側に位置する上原跨線橋。近隣住民に70数年もの長きにわたり「欄干橋」「太鼓橋」の愛称で親しまれていた古い橋が、平成16年には二車線の近代的な橋に生まれ変わった。

建設された昭和2年当時は車の少ない社会で、人と荷車の往来が主目的だったため、旧上原跨線橋の幅は4.2メートルという狭さだった。当時の橋の橋脚や橋桁には鉄道レールが使用されており、橋の上原側の脇にあるモニュメントで当時のレールを見ることができるので、興味のある方はぜひ。

### 観音道の道標

谷津沢川水路橋の南側に、ひっそりと佇む道標。安永7年（1778年）に妙音寺村の若者の寄進によって建てられたものだという。ここに記されている「久能山観音道」とは、この平川地から、有東坂・今泉・船越・矢部・妙音寺を通り久能寺（現在の鉄舟寺）に至る有度山麓の道のことである。東海道を往き来する人たちにとって、駿河国七観音のひとつである久能寺への道標として、重要なものであったようだ。



現在の鳥居（左）と、旧鳥居を保存した建物（右）



吉川に残る吉川氏の墳墓。現在、改裝も計画されている。

## Column 狐の話

「狐」ヶ崎と言われるだけあって、かつてこのあたりには狐が多く住んでいたのだという。それだけに狐に関する言い伝えも残っているので、ここではそのうちのひとつを紹介したい。

昔このあたりに住んでいた狐は、大変頭がよく、からかいに来た人を騙しては頭を割ってしまっていたが、その話を聞いた庄屋は自分は騙されるわけがないと高をくくっていた。ある日、庄屋が大名行列を見物していると、目の前で殿様の鷹が逃げてしまう。庄屋は曲者扱いされて捕えられ、首を斬られそうになるが、そこに一人の和尚が現れ、殺すのは可哀そうだと、自分の弟子にするので命は助けて欲しいと口添えをする。そこで庄屋がその場で頭を丸めると、大名行列も和尚もすべて消えてしまった。すべては狐の仕業だった、というわけだ。

他の話でも人を化かして迷惑をかける狐だが、悪者として描かれている印象はない。むしろ、人と狐の知恵比べがコミカルに描かれており、狐が身近な存在だったことを想像できる。

## アンケート

# 御門台・狐ヶ崎周辺の人たちに訊きました！

日々生活していく中で、自分たちの暮らすまちの良さについて改めて考える機会は少ないかもしれない。自分たちの暮らすまちのこと、どれだけ知っているだろう？ いいところ・好きなところってどんなところだろう？ 御門台・狐ヶ崎周辺の人たちに尋ねてみた。

## Q. この町のどんなところが好きですか？



有度第一小学校の子どもたちの後ろに描かれているのは「みんなでつくるうどの町」と書かれた壁画。現在建設中の有度生涯学習交流館の工事用外壁に描かれた、有度第一小学校6年生による絵だ。豊かな自然と笑顔溢れるまちは、子どもたちの思い描く理想の有度のまち。

また、便利さも私達の生活にとってとても大切な要素だ。静岡鉄道や幹線道路が走り、住宅地としても商業地としても発展している御門台・狐ヶ崎周辺。かつて狐ヶ

崎遊園地があり、家族の憩いの地であったであろう場所には今ではショッピングセンターが建ち、形は変わっても今もなお家族の生活に欠かせない場所であり続けているようだ。

アンケートからは地域の人々のつながりの深さがうかがえる。時代の流れとともにまちの姿が変わっても、そこで暮らす人々の笑顔とこのまちを愛する気持ちはずっと変わらず受け継がれてほしい。

information

静岡が育んだコレクター  
静岡が生んだ作家  
静岡に魅せられた作家

3月25日(日)まで開催中!

後期特別出品  
平野富山  
“彩色木彫”の美

リピーター割引!

本展有利観覧券の半券を  
ご持参の方は、本展を団体  
料金で観覧できます。

開館時間: 10:00~19:00 (展示室入場は閉館30分前まで)

休館日: 毎週月曜日

観覧料: 一般600円・大高生・70歳以上400円、  
中学生以下無料

\*障害者手帳等をご持参の方および必要な介助者は無料

静岡市美術館

夜7時まで開館

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F

tel. 054-273-1515 (代表) fax. 054-273-1518 www.shizubi.jp

## 「街かど」バックナンバー一覧

| Vol.no. | 発行年月   | 巻頭特集                   | Vol.no. | 発行年月   | 巻頭特集     |
|---------|--------|------------------------|---------|--------|----------|
| Vol. 01 | H6.11  | 対談:「静岡市文化振興財団とは」など     | Vol. 27 | H18.03 | 清水巴川・港周辺 |
| Vol. 02 | H7.02  | 静岡市の風土と文化 など           | Vol. 28 | H18.10 | 蒲原       |
| Vol. 03 | H7.08  | 静岡市として残したい文化・創りたい文化 など | Vol. 29 | H19.03 | 鷹匠       |
| Vol. 04 | H7.12  | 古代文化の宝庫・登呂を訪ねて など      | Vol. 30 | H19.10 | 安倍奥      |
| Vol. 05 | H8.01  | 見直したい今川文化 など           | Vol. 31 | H20.03 | 八幡       |
| Vol. 06 | H8.08  | 駿府学のすめ など              | Vol. 32 | H20.07 | 北街道      |
| Vol. 07 | H8.10  | 駿府と水、梅ヶ島 など            | Vol. 33 | H21.03 | 由比       |
| Vol. 08 | H8.12  | 駿府道しるべ など              | Vol. 34 | H21.07 | 丸子・宇津ノ谷  |
| Vol. 09 | H9.02  | 駿府薬園 など                | Vol. 35 | H22.03 | 美和       |
| Vol. 10 | H9.10  | 駅南                     | Vol. 36 | H22.07 | 三保半島     |
| Vol. 11 | H10.03 | 用宗                     | Vol. 37 | H23.02 | 登呂       |
| Vol. 12 | H10.10 | 鷹匠・長谷通り・浅間通り・城北公園      | Vol. 38 | H23.07 | 田町       |
| Vol. 13 | H11.03 | 池田                     |         |        |          |
| Vol. 14 | H11.10 | 七間町・常盤町・両替町・入宿町        |         |        |          |
| Vol. 15 | H12.03 | 西奈                     |         |        |          |
| Vol. 16 | H12.10 | 駒形                     |         |        |          |
| Vol. 17 | H13.03 | 西草深・東草深                |         |        |          |
| Vol. 18 | H13.10 | 羽鳥                     |         |        |          |
| Vol. 19 | H14.03 | 土手通り界隈                 |         |        |          |
| Vol. 20 | H14.10 | 大里〜大浜街道                |         |        |          |
| Vol. 21 | H15.03 | 伝馬町通り                  |         |        |          |
| Vol. 22 | H15.09 | 草薙                     |         |        |          |
| Vol. 23 | H16.03 | 安東・北安東                 |         |        |          |
| Vol. 24 | H16.07 | 興津                     |         |        |          |
| Vol. 25 | H17.03 | きよみずさん通り               |         |        |          |
| Vol. 26 | H17.10 | 曲金・小鹿・大谷               |         |        |          |

※創刊号から第9号までは、静岡市の文化人による寄稿が中心となっております。第10号からは静岡市の各地域を特集しています。

※バックナンバーは当財団ホームページからダウンロードできます。  
まだ冊子の在庫が残っている号もございますので、冊子をご希望の方は当財団までお問い合わせください。

静岡市文化振興財団  
TEL 054-255-4746  
URL <http://www.scpf.shizuoka-city.or.jp/>

## 編集後記 From Editor

- 子どもの頃に行った記憶のあるヤングランド、その歴史を訪ねてみたいと思ったのが今回の特集を選んだきっかけでした。今はもう跡形もないですが、貴重なお話をたくさん聞くことができました。
- 今回驚かされたのが、図書館にある地域資料の豊富さです。行ってみるのももちろんですが、その前に図書館で予習してみるのもいいかもしれません。
- 学生時代に何度も通った御門台の地。なつかしさでいっぱいになりました。また行きたいお店がたくさんできました。ご協力ありがとうございました。

## 参考文献

- 「町名の由来 静岡 清水 浜松 沼津」著:飯塚伝太郎 発行:静岡新聞社
- 「写真集 清水いまむかし」市毛陽二郎・川崎文昭/監修 発行:郷土出版社
- 「清水昔ばなし」角田 都美/編・絵 出版者:清水市農業協同組合
- 「ふるさと有度」編:有度連合自治会
- 「有度歴史散策」著:有度ふるさと研究会 発行:有度地区まちづくり推進委員会
- 「有度ふるさとマップ」著者名:有度連合自治会まちづくり推進委員会/編 出版者:有度連合自治会まちづくり推進委員会
- 「有度小百年」著者名:有度小学校/編
- 「かたりべ'84 ふるさとの街道」清水市かたりべクラブ
- 「写真で綴る静岡鉄道70年の歩み」発行:静岡鉄道株式会社

## 静岡文化情報「街かど」第39号

- 平成24年2月発行(年2回発行)
- 編集・発行(財)静岡市文化振興財団  
〒420-0031  
静岡市葵区興服町二丁目1-1 札の辻ビル6階  
TEL:054-255-4746 FAX:054-653-3501
- デザイン・印刷(株)静鉄アド・パートナーズ  
〒420-0837  
静岡市葵区日出町8-3(静鉄日出町ビル2F)  
TEL:054-252-3132・3133 FAX:054-254-1831
- 表紙キャラクター制作  
川内ゆうじ/アトリエ サンゴ  
〒424-0886 静岡市清水区草薙26  
TEL・FAX:054-345-6655

生活に密着した  
様々な事業を展開する  
総合生活文化企業グループ。

静岡鉄グループ

交通

- しずてつジャストライン
- 静鉄ジョイステップバス
- 掛川バスサービス
- 秋葉バスサービス
- 静鉄タクシー
- 駿遠運送
- 磐田運送

不動産

- 静鉄プロパティマネジメント
- 静鉄ファンティーズ

レジャー・サービス

- 静波リゾート開発
- 藤枝ゴルフクラブ
- 静鉄観光サービス
- 静鉄レストラン
- 静鉄アド・パートナーズ
- 静鉄保険サービス
- 静鉄情報センター
- 静鉄自動車学校
- しずてつソーサレア

流通

- 静鉄ストア

自動車販売

- 静岡トヨペット
- トヨタカローラ東海
- ネットトヨスルガ
- 静岡トヨペットサービス
- トヨタレンタリース静岡
- 東海自動車工業

その他

- 静鉄建設
- エコライン

静岡鉄道株式会社 <http://www.shizutetsu.co.jp/>

鉄道事業・索道事業[日本平ロープウェイ]・不動産事業・交通広告事業・介護事業・リゾート事業[藤枝ゴルフクラブ・静波リゾートホテルスウィングビーチ]・ビジネスホテル事業

お出かけは 静鉄タクシーで!!

ルルカポイントが  
貯まります!

クレジットカードで  
少額・近距離でも  
お気軽にご利用ください!

クレジットカードも利用可能!!

MasterCard VISA JCB

Amex Diners Club

UAE Nicos

Discover

エコカータクシー  
プリウスハイブリッド車

静岡グループ

静岡タクシー株式会社

静岡配車センター ☎(054)284-2111

清水配車センター ☎(054)352-3100

地産地消にこだわり、  
素材にこだわり、味にこだわり...

草庵は、掘りごたつのお席で時間もわすれて、  
楽しいひと時を友人や家族と過ごせる和食店です。  
草庵の自慢は親方が作る「料理」です。親方は食材にこだわっています!!  
徳川家康が好んでたべた折戸ナスや無農薬の畑で育てた三保のトマト、  
静岡の地鶏「駿河シャモ」など「地域の美味しい食材」をふんだんに使っています。  
また、毎日新鮮な美味しいお魚を仕入れています。  
沢山の手間とこだわりが詰まった親方の愛情がたっぷりの料理ばかりです。

楽彩膳 草庵

TEL:054-347-2078

住所: 静岡県静岡市清水区有度本町5-27

定休日: 月曜日(祝日の場合は営業し翌日を休日にします)・第三火曜日

営業時間: お昼/11:30~14:00(要予約) 夜/17:30~22:30(L.O)

◆静岡御門台駅を下車し、南幹線に向かって歩き、南幹線沿いを清水方面に向かって徒歩2分

<http://souan.eshizuoka.jp/>

14 - machikado

machikado - 15

# 大自然の恵みをそのままお届けします！

## ..... はちみつ & メープルシロップ .....

### 【カナダ産メープルシロップ】

メープルシロップはかえでの樹液から造りだされます。2月下旬～4月上旬にかけて、樹液はかえでの木に取り付けられたチューブ配管を伝わって流れ出ます。集めた樹液を煮詰めて濃縮すると、メープルシロップが出来上がります。メープルシロップのカロリーは砂糖の2/3と低く、カルシウム、カリウム等のミネラルが豊富です。



### 【メープルラスク】

メープルシュガーを使用したこくのあるおいしさ。弊社自慢の一品です。

### 【カナダ産はちみつ】

ブルーベリー、ラズベリー、百花蜜

### 【イタリア産はちみつ】

シトラス、アカシア、クリ、百花蜜

### 【国産はちみつ】

れんげ（鹿児島）、みかん（静岡）、マロニエ（秋田）、シナ（北海道）

### 【その他】

ローヤルゼリー、プロポリス、固形はちみつ等

株式会社 クキンビーガーデン

URL <http://www.qbg.co.jp/>

本社／〒424-0876 静岡県静岡市清水区馬走北2番8号  
電話：054（345）3320

東京支社／〒106-0047 東京都港区南麻布1-2-33  
麻布仙台坂ガーデン  
電話：03（5730）3833



誰もが気軽に立ち寄れる場所。それが「まちセン」。

まちづくりの情報提供・交流の場としてたくさんの人に集まって欲しい。立ち寄って欲しい。



OPEN 10:00 ▶ CLOSE 19:30

財団法人 静岡市振興公社事務所

展示・販売ブース

多目的スペース

まちの情報

無料休憩コーナー



### 無料休憩コーナー

飲食物持込可の無料休憩コーナーでは、無線LANでインターネットに無料で接続できます。

### チャレンジショップ【随時募集中！】

将来自分のお店を持ちたいけど、いきなりの出店には不安があるという方など…出店される前にミニ店舗で経験を積みませんか。

### レンタルスペース【随時募集中！】

HP等写真だけで商品を紹介している方・自分の作品を展示したい方、実際に商品が見られる場所として活用しませんか。委託販売も可能です。



さわって集める  
おまちの「いいね！」

おもしろ情報タッチパネル

**なびちよ**

静岡の  
まちなかの  
情報を  
のせていくよ！

<http://navichiyo.com>



「いいね！」をお願いします！  
[www.facebook.com/navichiyo.touch](http://www.facebook.com/navichiyo.touch)  
フォローをお願いします！  
<http://twitter.com/#!/navichiyo>



財団法人 静岡市振興公社

**静岡市まちづくり支援センター**

〒420-0031 静岡市葵区呉服町1丁目6-5 ミライエ呉服町2F  
TEL：054-270-8991 FAX：054-255-9503 URL：<http://s-machi.net/>

ミライエ呉服町

